

# JAQG活動説明

## 一般社団法人 日本航空宇宙工業会 航空宇宙品質センター(JAQG)

平成30年 2月 7日 東京会場 (イイノホール)

平成30年 2月 9日 名古屋会場 (名古屋 栄 東急REI ホテル)

© 2018 SJAC-JAQG.

1

## 目 次

- JAQG活動目的とメンバーの利点
- JAQGの組織の紹介
- JAQGの主要活動状況
- JAQG各WG活動状況
- まとめ:

# JAQG活動目的とメンバーの利点



© 2018 SJAC-JAQG.

3

## JAQG活動目的と会員の利点(1/4) JAQG活動の目的

### JAQGの主な活動:

- ① JIS Q 9100認証制度の運用と監視
- ② 国際品質規格の普及(翻訳出版)
- ③ 品質保証に関するガイダンス・ベストプラクティスの提供
- ④ 国内業界意見をIAQG活動へ反映
- ⑤ 世界のプライム企業の品質要求動向把握

**国際的な品質先端情報の活用**  
(国際品質規格、ガイダンス、  
JAQG Web情報、活動報告会、  
JAQGへの意見/問合せ)

**9100規格国際認証制度の活用**  
(顧客の監査省略、顧客  
特有の要求削減)

- ・構成する各企業の
- ・航空宇宙防衛産業の
- ・ユーザーの

**品質の向上  
コストの削減**

← JAQGの目的

© 2018 SJAC-JAQG.

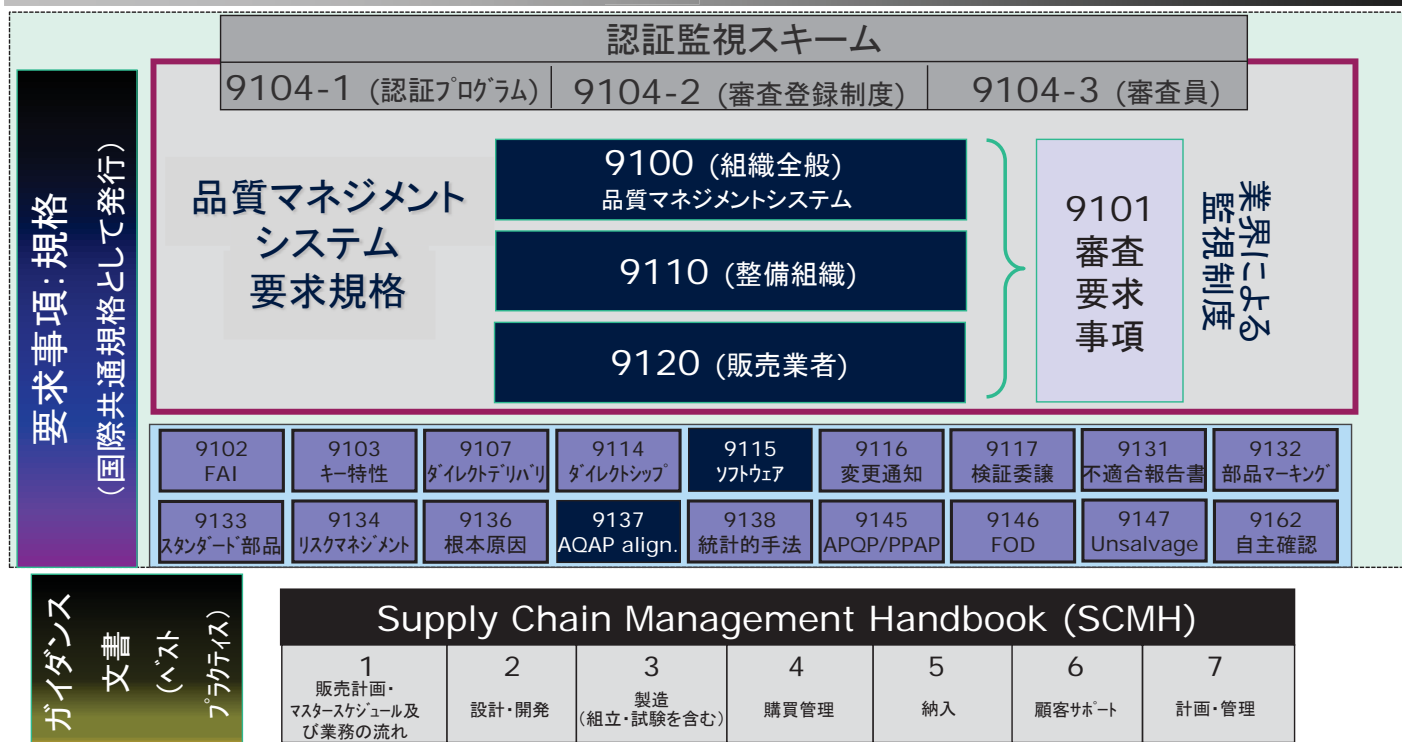
4

# JAQG活動目的とメンバーの利点(2/4)

## 国際品質規格とガイダンス文書



Japanese Aerospace Quality Group



世の中(業界)水準の品質管理レベルの確認ができる  
品質に関する困りごとの解決ができる

© 2018 SJAC-JAQQ.

5

# JAQG活動目的とメンバーの利点(3/4)

## 9100国際認証制度

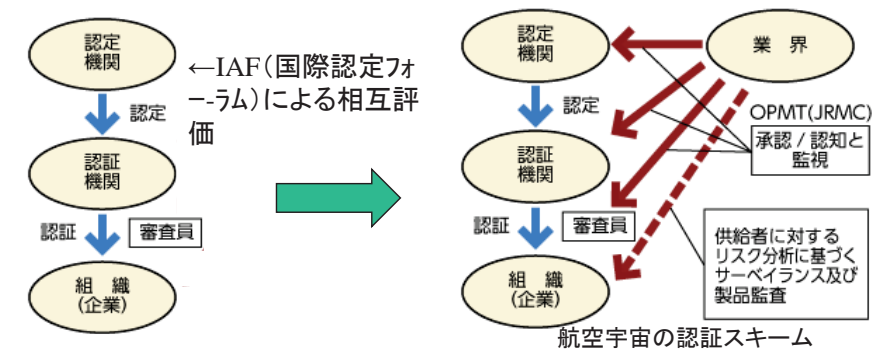


Japanese Aerospace Quality Group

- ✓ 信頼できる認証制度を活用することにより、複数の顧客の監査をJISQ9100を基準とする第3者監査に一本化可能
- ✓ JAQG(JRMC)では、**認証の信頼性を維持・向上するため**通常のISO9001等の認証制度にはない「**業界自身が監視する制度**」をJIS Q9100の認証制度に取り入れています

### 【監視制度の骨子】

- ・認証制度の規定作成
- ・関係機関の承認/認知
- ・関係機関への立会審査・指導



一般の認証スキーム

OPMT: Other Party Management Team

JRMC: Japan Registration Management Committee

顧客の個別監査や個別品質要求に対応するコストを削減できる。

© 2018 SJAC-JAQQ.

6

## ◆JAQGメンバーのメリット

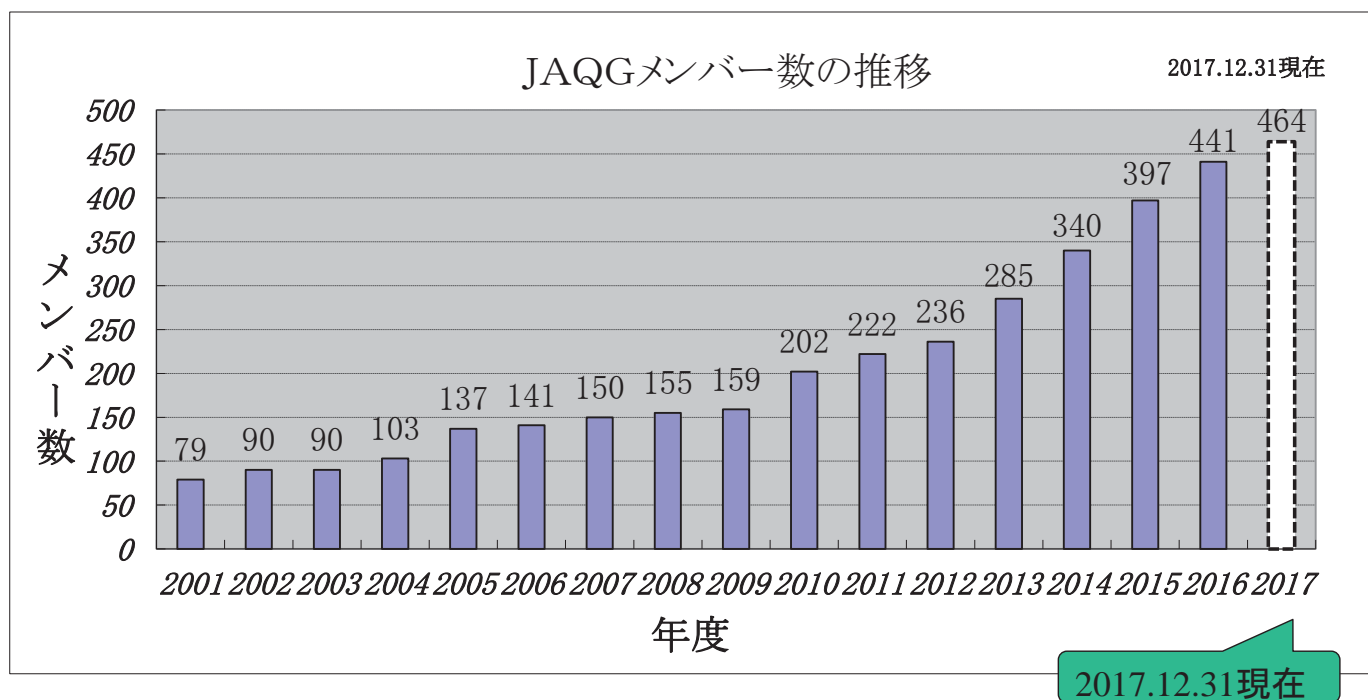
- (1) JAQG活動への参加機会が得られる  
意見・要望・質問・フィードバック発信, WGメンバーとして参加
- (2) JAQGメンバー専用ウェブからの最新情報取得  
規格の支援文書(FAQ、意図明確化等), Nadcap AC 日英対訳版,  
SCMH(Supply Chain Management Handbook)和訳版 など
- (3) SJAC出版規格、書籍の割引価格での購入
- (4) 9100規格認証に関わる認証制度維持改善費の減免

## JAQG 組織の紹介



# JAQG組織の紹介(1/3)

## メンバー数の推移

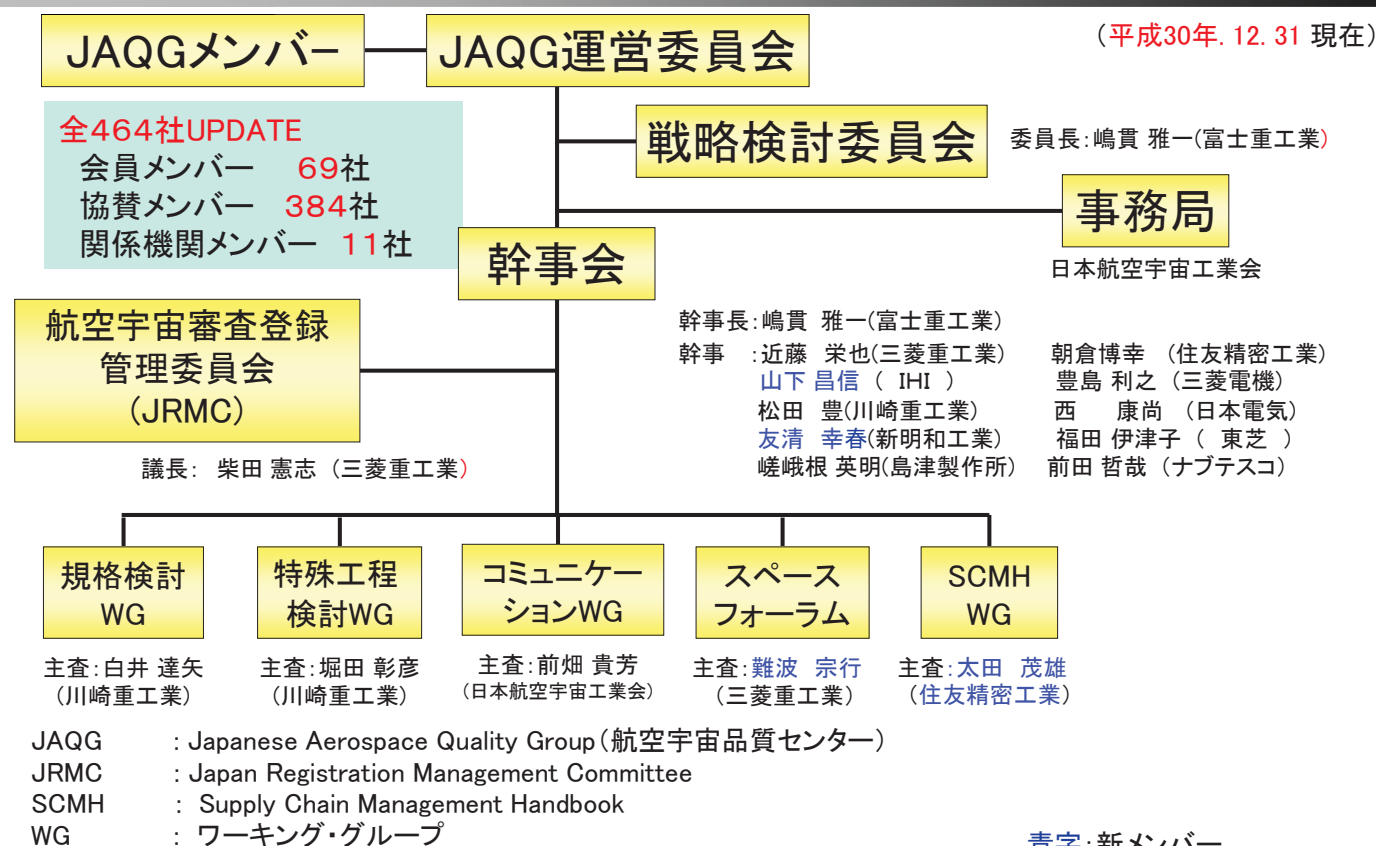


© 2018 SJAC-JAQG.

9

# JAQG組織の紹介(2/3)

## JAQG組織



© 2018 SJAC-JAQG.

10

# JAQG組織の紹介(3/3)

## 関連活動の担当(幹事会社ベース)

会社名	JAQG関連活動							
	戦略検討 委員会	幹事会	JRMG	ワーキンググループ				
				規格	特殊工程	COM	SF	SCMH
富士重工業	◎	◎	○	○	○	○		○
IHI	○	○	○	○	○	○	○	○
三菱重工業	○	○	◎	○	○	○	◎	○
川崎重工業	○	○	○	◎	◎	○	○	○
新明和工業		○		○	○	○		○
島津製作所		○		○	○			○
住友精密工業		○		○	○	○	○	◎
三菱電機		○		○	○	○	○	○
NEC		○		○			○	○
東芝		○		○		○		
ナブテスコ		○		○	○	○		○
IHI エアロスペース							○	
JAQG事務局 (SJAC)	○	○	○			◎	○	

◎: 幹事長/委員長/議長/各ワーキンググループ主査  
SF: スペースフォーラム

○: 担当

## JAQGの主要活動状況





# JAQG主要活動状況(2/6)

## 戦略検討委員会活動

### ◆ 活動目的

JAQG中長期戦略方針を策定し、運営委員会に提案する

### ◆ 活動方針

➤ステークホルダーとの関係構築強化

➤IAQG活動への対応、国内への展開、フィードバック

IAQG戦略検討WG(SWG)へ参加し得られた結果を審議、必要なアクションを各WG等へ展開するとともに、各WG等からの検討結果をIAQGへフィードバック

➤JAQG独自の戦略策定

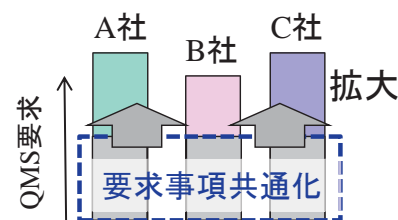
国内: 強固な品質マネジメントシステム構築の推進

要求事項の共通化、運営の効率化・改善の推進

APAQG: 日本のリーダーシップで、APAQG要望をIAQGへ提案

APAQG内の品質管理能力底上げ(APAQG認証スキーム構築等)

IAQG: JAQG独自の戦略に基づき、検討した固有の要求事項等をIAQGへ提言



# JAQG主要活動状況(3/6)

## ステークホルダーとの関係強化

業界の品質向上のために各ステークホルダーとの関係構築継続

### ・防衛省殿:

引き続きJIS Q9100規格を組込んだ調達仕様書にて供給者管理にご活用

### ・JAXA殿:

JIS Q9100規格を基本とした契約要求を発行いただき、ご活用開始

### ・JCAB殿:

引き続き9110(\*)規格に対する世界動向について情報提供中

### ・経済産業省殿:

JAQGで開発したガイダンスマテリアル(SCMH)の情報を提供

### ・認証/認定機関:

新OASIS説明会等開催

### ・JAQGメンバー:

新OASIS説明会開催

# JAQG主要活動状況 (3/6)

## IAQG活動への対応, 国内への展開, フィードバック

### IAQG活動への対応

- ・半年に一度開催するIAQG総会
- ・4半期EC (Executive Committee) 対面会議出席
- ・各種ワーキンググループ参加 (対面/テレコン)



### 国内への展開・フィードバック

- ・JAQGニュース/SJAC会報
- ・各種説明会
- ・規格原案へのコメント募集
- ・JAQG Web サイト
- ・問い合わせ窓口



# JAQG主要活動状況 (4/6)

## 独自戦略・強固なQMSシステム

### ◆規格の発行(SJAC 9068)

- 業界全体に渡る品質管理事案の防止策等を検討し、強固なQMS構築を目的にH25年度に制定
- 以降JAQG幹事会社のサプライチェーンへの要求事項として当該規格呼出し
- JIS Q9100-2016版発行に伴いH28年度に見直し

### ◆ガイダンス文書の発行

- 規格化までは至らずとも各会社が実践したほうがよいと思われる事項を盛り込んだガイダンス文書をH25年8月より順次日本独自文書として発行
- その後IAQGへ提案し、世界共通ガイダンスとしてIAQG SCMH化

### ◆国内各社要求事項の共通化を計画(現在進めている候補案)

- EEE品・鉛フリーはんだ・模倣品・COTS品・枯渴品等の管理に対応する規格
- 昨今の材料品質事案に対応した「ロバストQMS」プロセスを共通化  
(SJAC9068追加改正想定)



# JAQG活動状況

(平成29年度 活動実績)



Japanese Aerospace Quality Group

平成29年度	1/4半期	2/4半期	3/4半期	4/4半期
運営委員会	▼5/21			
幹事会	▼4/19 ▼5/18 ▼6/16	▼7/14 ▼8/23 ▼9/19	▼10/27 ▼11/22 ▼12/26	▼1/24 ▼2/21 ▼3/20
戦略検討委員会	▼4/19 ▼5/17 ▼6/16	▼7/12 ▼8/23 ▼9/19	▼10/27 ▼11/22 ▼12/26	▼1/24 ▼2/21 ▼3/20
ワーキンググループ	規格/特殊工程/SCMH/コミュニケーションの各WG、スペースフォーラムを毎月開催			
ステークホルダー連携	▼新OASIS WORK・SHOP (6/7,9) ▼OASIS 覚書調整会(6/27)		JAQG活動報告会(2/7,9)▼ ▼認証制度と管理の説明 ステークホルダ活動報告(TBD )▼	
JIS Q 9100認証制度運営管理	JRMCメンバー会議(毎月)・オーバーサイト・追認 ▼JRMC拡大会議(6/27)		▼JRMC拡大会議(12/15) ▼JAB合同研修会(12/14)	
JIS・SJAC規格発行	▼9162 (Self V) 9136(RCCA)▼→ 9145(APQP)▼→ 9146(FOD)▼→ ▼9107 (DD) → ▼9138 (S.A) →			

やや遅れあるも計画通り実施中

© 2018 SJAC-JAQG.

17

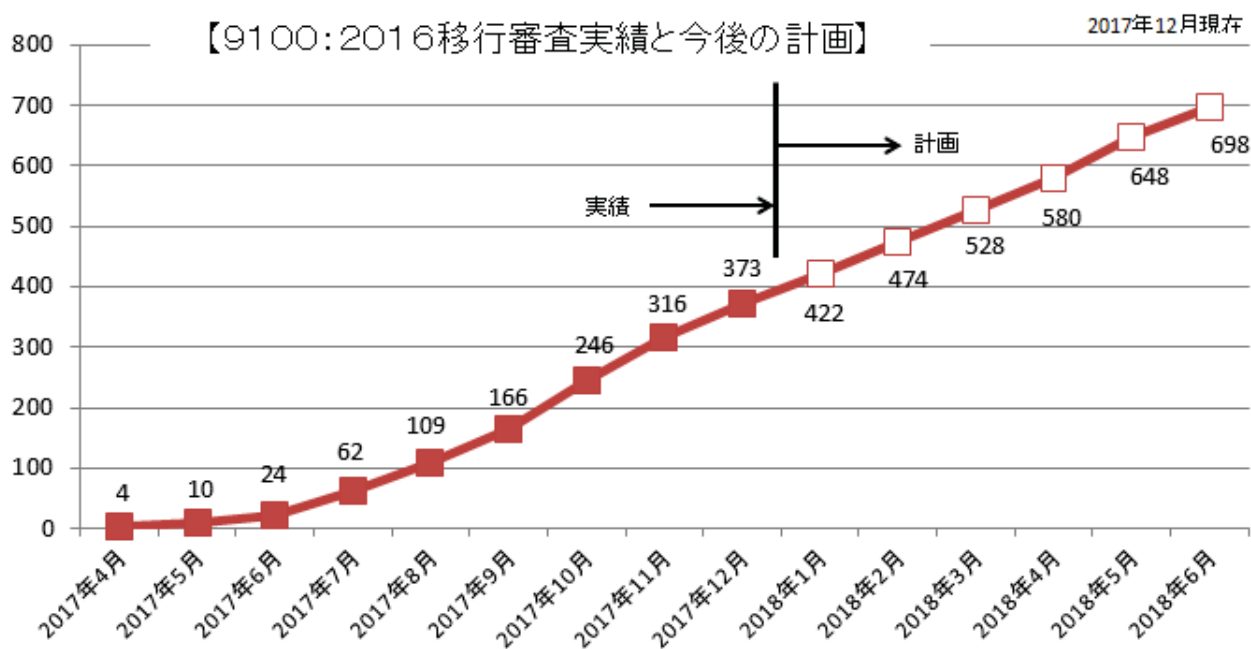
## JAQG主要活動状況(6/6)

JIS Q9100 2016版対応状況



Japanese Aerospace Quality Group

2016版移行状況はほぼ計画通り



© 2018 SJAC-JAQG.

JAB殿ご提供データ

18

## JAQG各WG活動状況

- 規格検討WG
- 特殊工程検討WG
- コミュニケーションWG
- スペースフォーラム
- SCMHWG



© 2018 SJAC-JAQG.

19

## JAQG各WG活動状況 規格検討 WG概要 (1/2)

### ◆活動内容

品質保証に関する規格の制定を通じてメンバー企業の品質向上に繋げる。

- 規格の制定／改正作業に関して、検討段階からIAQG会議へ参加し、会員の意見を具申する。(メンバー限定)
- IAQGで作成される規格に対し、技術的内容の一致した国内規格(日本語版)の原案を作成し、パブリックコメント募集を実施し、日本規格協会等と連携し、規格の制定／改正を行う。
- IAQGで作成される規格関連の展開支援文書について、適宜翻訳を実施し、日本語版資料を作成する。(メンバー限定)
- 活動報告会、説明会等を通じて、制定／改正規格の概要・作業状況について紹介する。(メンバー限定)

© 2018 SJAC-JAQG.

20

# JAQG各WG活動状況 規格検討 WG概要 (2/2)



9100規格-2016年版改正 用語変更[JIS Q 9001 (ベースライン)による]	
2009年版	2016年版
製品 (products)	製品及びサービス
除外 (exclusions)	QMSの適用範囲は正式に決定され、その適用範囲内であるならば全ての要求事項は適用される。
文書 (documentation), 記録 (records), 文書化された手順 (documented procedures)	文書化した情報 ・ 維持される (maintained) = 文書又は手順 (documents or procedures) ・ 保管される (retained) = 記録 (records)
購買製品 (purchased product)	外部から提供される製品及びサービス (externally provided products and services)
供給者 (supplier)	外部提供者 (external provider)

## 展開支援文書の一例

文書化した情報は、新しい用語を反映するために変更する必要はない。

定義の階層: IAQG規格, JIS Q 9000:2015, IAQG Dictionary, Oxford Dictionary

© 2018 SJAC-JAQG.

1

# JAQG各WG活動状況 特殊工程検討WG概要 (1/2)

## ◆活動内容

特殊工程の国際認証制度(Nadcap)の日本国内への有益な展開を図る為、JAQGメンバーの認証取得及び維持活動への支援を実施。

- ACチェックリストの翻訳提供(メンバー限定)
- 業界としてPRI-Nadcap等へNadcap監査に関連する意見提言(メンバー限定)
- 日本の意見を反映させるため、Nadcap理事会に積極的に参加(メンバー限定)
- Nadcapシンポジウムに協賛し、日頃の疑問点の解消
- 日本人監査員増強を支援し、日本語での受審を拡大

© 2018 SJAC-JAQG.

22

# JAQG各WG活動状況 特殊工程検討WG概要 (1/2)

## ◆活動内容

ACチェックリスト日英対訳版の公開状況  
JAQGメンバー専用ウェブサイトで公開  
(53 アイテム の対訳版 を掲示)

### ACチェックリストのJAQG Web公開例

英文／和文の対訳版形式

6. INSPECTION NA

6.1 Process Verification

6.1 工程の検証

6.1.1 Is each heat treatment cycle reviewed for job traceability, correct temperature, time at temperature and all other related parameters? YES NO

6.1.1 各熱処理サイクルは、当該作業へのトレーサビリティ、正しい温度、当該温度での時間その他関連するすべてのパラメータについてレビューされているか？

6.1.2 Is this review performed by Quality Assurance or other designated personnel and the review documented on the furnace recording? YES NO

6.1.2 上記のレビューは品質保証あるいは他部門の任命された作業員によって実施され、炉の記録上に記録されているか？

6.1.3 Are the acceptance status and any test data recorded on the shop paper only after the operation for that job has been completed? YES NO

6.1.3 可否ステータスおよび試験データはすべて、必ず当該作業が終わってから、S/O上に記録されているか？

ACチェックリストが和訳されている主なプロセス

プロセス	記号	チェックリスト番号
化学処理(表面処理: Chemical Process)	CP	AC7108
コーティング(Coating: 溶射、蒸着等)	CT	AC7109
熱処理(Heat Treatment)	HT	AC7102
材料試験ラボ(Material Testing Labs)	MTL	AC7101
特殊機械加工 (Nonconventional Machining: レーザー加工等)	NM	AC7116
表面強化 (Surface Enhancement: ショットピーニング)	SE	AC7117
非破壊試験(Non Destructive Testing)	NDT	AC7114
溶接(Welding)	WLD	AC7110
複合材(Composite)	COMP	AC7118
測定と検査 (Measurement & Inspection: CMM等)	M&I	AC7130
品質システム (Aerospace Quality System)	AQS	AC7004

© 2018 SJAC-JAQG.

23

# JAQG各WG活動状況 コミュニケーションWG概要(1/2)

## ◆活動内容

JAQGメンバーのコミュニケーション改善及びJAQGの  
広報推進

- JAQGメンバーからのご意見/ご要望をあらゆる手段で収集し、JAQG活動の改善にフィードバック。(メンバー限定)
- JAQGメンバーウェブサイトを維持し「JAQGニュース」、ウェブの内容の的確な更新を通じてIAQG/JAQG活動の最新情報をタイムリーに提供。(メンバー限定)
- 必要に応じウェブサイトの機能強化・改善を行う。
- ステークホルダーへの情報発信

© 2018 SJAC-JAQG.

24



# JAQG各WG活動状況 コミュニケーションWG概要(2/2)

## ◆ JAQGパブリックウェブサイト概要

The diagram illustrates the JAQG website structure. It starts with the **JAQG トップページ** (JAQG Homepage). From the homepage, users can access the **メンバーページ** (Member Page) via a link in the sidebar. The **メンバーページ** features a **メンバーメニュー** (Member Menu) and a **プルダウンメニュー** (Pull-down Menu). The **メンバーメニュー** includes links to various resources such as the site map, notices, JAQG management committee materials, activity reports, JRMH and SCMH information, and member-specific manuals. The **プルダウンメニュー** provides access to public resources like the 9100 series specifications, Nadcap ACI, SCMH and JIS Q 9100 certification, and OASIS materials. A **メンバー限定** (Member Only) section is also indicated, pointing to the member page. The **メンバーページ** itself contains a calendar of events, a list of recent articles, and a sidebar with additional links.

<http://www.sjac.or.jp/jaqq/member>

25

# JAQG各WG活動状況 スペースフォーラム概要 (1/2)

## ◆ 活動内容

宇宙業界が一体となり、JIS Q 9100 品質マネジメントシステムを展開し、日本の宇宙製品の品質の著しい改善とコスト低減を図る。

- 国内宇宙業界の**共通的な品質規格**を確立し、維持・向上させていくため、JAXA殿と連携・協力して活動を継続、発展させる。
- 宇宙事業で培ってきた技術、経験を最新の航空・宇宙業界品質規格に反映させるため、IAQG/APAQG会議に積極的に参加する。
- 宇宙関連企業の裾野を広げるため、国内やアジア地区からの**新規メンバー参加**を促す活動を展開する。
- SFメンバー間の相互コミュニケーションを活発化する。



## ◆主な活動成果

### ➤ JAXA／宇宙関連事業者間の連携強化

- SFメンバーとして活動参加いただき、課題や動向情報などを共有。
- 9100および関連規格の読み合わせ・勉強会を共同実施、日本における宇宙関連事業者ならびにステークホルダーからのコメントとして集約し、IAQGスペースフォーラムに報告。
- 9100規格準拠のJAXA品質管理要求文書の制定と運用を支援。プロジェクトへの適用など運用について、SFの場で継続支援。

### ➤ 新規メンバーの参加促進

- 2017年のアジア・太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF-24)@インドに参加。IAQG・APAQG/JAQG活動のプレゼン実施。
- プロモーション活動(新規メンバー／ステークホルダーの参加促進)実施。

## ◆活動内容

※PSCI: **P**roduct & **S**upply **C**hain **I**mprovement

組織のQMS向上に必要なガイダンス文書/ベストプラクティスを提供。  
(メンバー限定)

### ➤ SCMH とは？ → Supply Chain Management Handbook

航空宇宙防衛産業に携わるサプライヤーに向けて作成された、体系化されたガイダンス／トレーニング資料／ベストプラクティスの文書。

IAQG PSCIチーム(SCMH運営チーム)で作成・維持。

### ➤ SCMHの目的は？

既存の規格を補足し、「どうすれば要求事項を満たせるのか」、  
また「どうすれば改善/向上を図ることができるのか」、に焦点。

“WHAT(何を)”  
に焦点をあてた活動  
(規格等)



“How(どのように)”  
に焦点をあてた活動  
(SCMH)

顧客の要求／期待や組織の目標を満たす方法についてのガイダンスや最適手法を提供。

### ➤ SCMHの閲覧は？

SCMH(英語版)は、IAQGウェブで一般公開中。

## ➤SCMHの例(JAQGウェブでメンバー限定で公開中)

### 3.5章 模倣品予防

模倣品や未承認の疑いがある部品が入り込むことを防ぐ、効果的な方法や手順の文書化に役立つ管理計画を開発するための最良の方法を提供。



## まとめ

- ◆ ステークホルダからJIS Q9100の認証制度への信頼を継続的に頂くため、維持・改善を進めていきます。
- ◆ 日本国内業界の品質向上を目指して規格、ガイダンスマテリアル、チェックリストの作成を行っていきます。会員になると各種特典があります。
- ◆ IAQG活動へ参加し、IAQG成果物への国内要望反映と世界の品質動向を会員へ紹介しています。
- ◆ 活動の気運が盛り上がっているアジア・太平洋地区のリーダーとしてアジア・太平洋地区の品質レベル底上げを実施していきます。

・ご清聴ありがとうございました